

教師建議題目

	主題	題目	説明	老師
1	動漫類	アニメを対象とするジャンル批評	アニメ作品群を「SF」「ラブコメ」「ギャグ」、「終末もの」「ループもの」「鬱展開」「セカイ系」「空気系」などのジャンル概念によって分析し、個々の特質や史的な流れを明らかにする。	横路明夫
		アニメを対象とする読者反応批評(アニメに関する読者論、アニメファン研究)	アニメについては特に、同人誌の二次創作やコスプレなどを手がかりにして、その作品が享受者によってどのように受容・消化されているかを明らかにし、それを作り手側の意図と比較する形で論じることが可能である。	
		アニメに関する脱構築批評	対象となる作品なり監督なりがいかにより対立的な従来の意味づけを逸脱し、多様性を獲得しているかを分析する手法。例えば、『海のトリトン』における善/悪のどんでん返しなどが扱われる。	
		アニメを対象とした精神分析批評	フロイト・ユング・フレイザー・ラカンなどの分析をアニメに応用する。特にフレイザーに発する「原型批評」「神話批評」は有効かもしれない。	
		アニメを対象としたフェミニズム/ジェンダー批評	性差別的表現や男性/女性というステレオタイプの二項対立に着目し、社会的な意味を問う批評方法をアニメ作品に適用する。	
		アニメを対象としたマルクス主義批評(イデオロギー分析)	どのような政治的・社会的・経済的諸条件の中から生まれてきたかを探求し、作品の意味を解明しようとする方法論をアニメ作品に適用する。	
		アニメ作品へのポストコロニアル批評の導入	帝国主義的な他者不在のオリエンタリズムがアニメ作品にどのように表現され、どのようなメッセージを享受者に与えようとしているかを分析する。	
		アニメ作品を対象としたエコクリティシズム(都市・環境論)	環境問題にアニメがどのように関わり、どのようなメッセージを込めようとしているかを考察する。	
		台湾における日本アニメの受容—〇〇(作品名)を中心に—		横路啟子
		日本動、漫中の古典語言文化研究		楊錦昌
		動、漫中の日本和歌研究		
		現代日本の少年・少女漫画の中のジェンダー		
		「エロ漫画」と女性—会田誠と太宰治の作品から		
		手塚治虫漫画の世界		
		・日本アニメに見るアニミズム—宮崎駿を中心に—		
・日本アニメに根付くアニミズム—アニメ作品から—				
・日本アニミズムと巨木信仰				

	主題	題目	説明	老師
		・ 日本の巨木信仰と宮崎駿		坂元さおり
		・ 森羅万象に宿る霊—宮崎駿のアニメから—		
		・ 宮崎アニメに見られる「宗教」—八百万の神—		
		・ 宮崎アニメが描く「森」と人間		
		・ 宮崎駿と反核思想		
		現代日本は「怪獣」をどう描くか—ゴジラ、宮崎駿のアニメから—		
2	観光類	日本人観光客増加の戦略—〇〇（地名）を例に—		横路啟子
		台湾旅遊路線之規劃—針對日本觀光客—		黃翠娥

主題	題目	説明	老師
3 文化類	日本と台湾の〇〇文化比較	〇〇文化＝食文化、学生文化、祭り文化…	横路啟子
	日本の若者文化を考える——〇〇を例に——	〇〇：コスプレ、ハロウィン、大学のサークル	
	日本現代文化中的古典語言文化研究		楊錦昌
	台灣社會中的古典語言文化		
	台灣社會中的「日語（文化）景觀」研究		黃翠娥
	日本文化主題	傳統、現代:地震、少子化、老人戒護、宅文化、動漫研究、電玩研究…	
	台湾における日本サブカルチャーの受容		中村祥子
	日本人が好む台湾ドラマの実態調査 ～なぜそのドラマは日本人に人気があるのか～		
	現代台湾ドラマにおける日本人の描き方 ～「作品名」を対象に・今台湾で日本人はどのよう に見られているのか		
	「学校の怪談」日台比較～なぜその怪談は学校で生 まれるのか		
	ゆるきゃら日台比較研究～日台のゆるきゃらは何が 違うのか～		
	・日本のアイドルの歴史—70年代から2010年代まで		
	・日本のアイドル文化—ジャニーズ、秋元康プロデ ュースアイドルから—		
	・日本のアイドル形成—大衆の欲望を映す鏡—		
	・日本の小劇場文化—寺山修司、唐十郎を中心に— ・日本の過剰包装文化とその美学		
	・会田誠の美少女図から見るアジアの「女嫌い」文 ・「美少女」の商品化—会田誠の作品から—		
	・会田誠の戦争画から見るナショナリズム		
	・会田誠作品から見る日本文化への批判—ナショナ リズム・セクシュアリティ—		
	・会田誠と三島由紀夫—エロスの描き方— ・会田誠が暴く戦後日本社会		
	・現代日本美術の武士—天明屋尚の絵画—		
・芸術が与える生の力—原爆後の自然を描く大岩オ スカールの絵画から—			
・銅版画家・富谷悦子の世界—なぜ「動物・植物」 をモチーフとするのか—			
・奈良美智の世界—NEO・POPが描く現代日本—			
・「スーパー・フラット」が世界に発信するもの— 村上隆と奈良美智—			

主題	題目	説明	老師
	・日本のスーパーフラットとハイブランドー村上隆とルイ・ヴィトンー		坂元さおり
	・「スーパーフラット」とSNS社会ー「美」の標準 ・不完全の美ー侘茶の精神		
	・茶人と「間」の美意識ー須田悦弘を中心にー ・茶道と日本流「おもてなし」の美学		
	・日本文化における「間」の美意識ー俳句を中心にー ・無印良品の製品に見る「間」の美学 ・日本文化における「見立て」		
	・「森羅万象」から見る日本の美意識		
	・日本人の宇宙観と生命観ー宮島達男の作品からー ・日中の山水画に見られる精神の比較 ・杉浦日向子『百日紅』が描く江戸文化 ・「双六」と浮世思想 ・浮世絵とジャポニズム ・浮世絵と北斎漫画		
	・浮世絵についてー美人画、歴史絵、春画ー		
	・現代日本の浮世草子ー束茅の作品を中心にー ・現代日本の死生観ー束茅の作品からー ・琳派とクリムト絵画 ・琳派が現代デザインに与えた影響 ・刺青文化と「傾く」という美意識 ・台湾と日本の「ヤンキー文化」比較		
	・「傾奇」「娑婆羅」と「サブカルチャー」ー原宿のファッションからー		
	・日本のヤンキー文化ー「龍」がなぜ用いられるのかー		
	・「ホラー」をどう描くかー松井冬子の日本画を中心にー ・戦争と原爆 ・日台仏教文化の具現化ー仏像を中心にー		
	・宗教の力ー芥川龍之介『南京の基督』を中心にー		
	・日本の山岳信仰ー世界遺産「投入堂」を中心にー ・大正デモクラシー時代の台湾		
	・日本統治時代の台湾が描く「景」ー台湾美術展覧会の作品からー		

	主題	題目	説明	老師
4	文學類 (近現代)	台湾における日本文学の受容——〇〇（作家名）を中心に		横路啓子
		日本近世讀本文學的研究		林文瑛
		日本近現代文學主題	文學流派或作家的研究	黃翠娥
		台湾を描いた作家たち～台湾の何を描いたのか？	Cf佐藤春夫 司馬遼太郎 津島裕子 東山彰良 など台湾を描いた作家のひとつの作品を取り上げて、分析する。小さな作品論ですが、台湾という切り口で読むことで、台湾がどのように理解されているかわかると思います。	中村祥子
5	文學類 (古代)	日本平安朝文學中の人物造型		頼振南
		日本平安朝物語文學的話型研究		
		日本平安朝的文化探索		
		台湾における日本語創作の実態調査 ～短歌会・俳句会の構成員を中心に		中村祥子

主題	題目	説明	老師
6	日本の歌詞から見た日本語の四季の用語		馮寶珠
	日本語の四字熟語に関する研究		
	日本語の擬声語・擬態語について		
	感情表現の日中対照	日本語の「うれしい」「たのしい」…と中国語の「高興」「快樂」「開心」「愉快」…といった言葉は、意味や用法がどのように共通し、どのように相違するのか。また、両者を相互に翻訳する場合には、どのような問題が生じ得る	小針浩樹
	ことわざの日中比較	「隣の芝生は青い」と「外國月亮比較圓」のように、類似した意味内容のことわざを、日本語と中国語では、それぞれどのように表現しているか。そこに何らかの傾向は見られるか。また、日本語のことわざによく用いられる身体部分（「目の上のたん瘤」「頭隠して尻隠さず」…）や生き物（「猫に小判」「捕らぬ狸の皮算用」…）に、何らかの傾向や特徴はあるか。	
	日本語の類義表現	「気持ちがいい・悪い」「機嫌がいい・悪い」「気分がいい・悪い」「調子がいい・悪い」「気味が悪い」…といった類義表現は、どのように使い分けられるのか。また、「心情不好」を即「気持ちが悪い」と翻訳することには、どのような問題点があるか。	
	日本語の表記・文章における繁体漢字	日本語の表記や文章では、ごくまれに、本来は使われることのない繁体漢字（「氣、證…」）が使われる場合がある。それは、どんな場合で、どんな理由によるのか。また、どのような目的や効果があるか。	
	漢字の読み方	「大音声（だいおんせい）」と「大声（おおごえ）」というように、漢字「大（+〇〇）」は、漢語につく場合は「だい」、和語につく場合は「おお」と読むことが原則である。しかし、「大喧嘩」は「だいげんか」ではなく「おおげんか」と読む。「大地震」は「おおじしん」と読むが、「だいじしん」と読むこともある。こうしたケースについて、新しい用法を収集・分析する。また、こうした読み方と中国語の漢語の性質との関係を考察する。	
	今時の若者流行語		
	「を」格を取る非意志動詞		黃瓊慧
	日本語の類義表現の文法「格助詞（カラとヲ）、接続詞（ソレでとソコで）、指示詞（ソノとアノ）、時間節（間と間に）、モダリティー（ヨウダとらしい）など」		
	中国語表現として定着した日本ドラマの流行語についての研究 ～バラエティー番組での言葉を中心に～		中村祥子
	日台ことわざ比較～若者への戒めを中心に		

主題	題目	説明	老師
7	『みんなの日本語』における文化語彙の研究		馮寶珠
	台湾市販の高校教科書における語彙の研究		
	台湾市販の読解教科書における語彙文型の研究		
	変容する日本語—教育上の扱い—	日本語の教科書では、「食べれる・食べれない」「来れる・来れない」というような、いわゆる「ら」抜き言葉を、どのように扱っているか。また、教育の現場では、それは、どのように教えられているか。	小針浩樹
	日本の大學如何推動企業實習		許孟蓉
	日本大學的留學生政策		
	因應國際化的大學課程改革		黃瓊慧
	在学中の實習が日本語学習にもたらす影響		
	演劇の授業が日本語日本文化学習にもたらす影響		林文瑛
	日文系學生日語學習動機探討		
	日語能力測驗與日語學習的相關研究		黃翠娥
日語教材編撰			
「大學入門」、「人生哲學」、「專業倫理」課程改進			
8	1972年日、「中」關係正常化之研究		何思慎
	冷戰後「美日同盟」的調整及其對東亞區域安全的意		
	日本與周邊國家的領土主權爭端	兩岸、韓國、俄國	
	東亞海域爭下的日「中」關係	日「中」經濟海域重疊劃界，東海油氣田開發爭端，東海共識，中共「東海防空識別區」、日「中」海空連絡機制磋商、南海航行自由	
	日本的自由貿易戰略	TPP、RCEP、日中韓自由貿易協定、日歐EPA	
	日本鬆綁「集體自衛權行使」對日本防衛及外交之意		
9	安倍首相「積極和平主義」下的日本外交		中村祥子
	漫画に見る日本語の擬音語・擬態語の翻訳のしかた ～ドキドキ・ドキッを中心に		
	台湾のグリーン經濟—台積電の取り組みから—		
	自然と人間の交差点としての建築—隈健吾の耐震建設—		
	「シェアリング」とビジネスモデルの変革—「TUTAYA」の取り組みから—		
	シェアリング社会—UBERの今後の発展		
	「ふるさと納税」は何を変えたか		
	「資生堂」のブランディング戦略と文化戦略		
	「casio」のブランディング戦略		
	「STARBUCKS」の企業戦略—移民や大学生を雇用するのはなぜか—		

	主題	題目	説明	教師
10	経済類	出版社はネット社会でどのように生き残るかー角川書店とドワンゴの取り組みー		坂元さおり
		「お宅」の趣味を強みに変えるー「海洋堂」の例からー		
		鹿島建設と台湾の歴史ー鉄道網の歩みー		
		「文化商品」として「台湾」の何をどのように売るかー金魚型ウーロン茶の例からー		
		「巨人」（台湾の自転車メーカー）と瀬戸大橋のコラボ		
		「文化商品」と教育の交差点ー瀬戸内芸術祭と福武書店の試みー		
		民泊の可能性		
		台湾「ガイド」のプラットフォームづくり		
		「フェア・トレード」を考えるー「マザーズ」の試みー		
		誠品書店の文化戦略		
		アイドルビジネスー韓国の例からー		
		A K Bのビジネスモデル		
		「B級グルメ」をどう売るか		
		「onworld」（日本の眼鏡屋）はなぜ、赤字から世界チェーンになったか		
「鼎泰豊」の企業戦略				
「くまもん」というゆるキャラの経済効果				
11	其他類	輔仁大學校訓真善美聖之研究		中村祥子
		台湾古地図探訪～古い資料を調べて昔の町を再現する～		
		日本時代の新荘はどんな町だったか。～復元戦前の新荘～		